

2026年3月13日

本田技研工業株式会社
慶應義塾大学
国立大学法人 大阪大学

Honda、慶應義塾大学、大阪大学が、 高度 AI 人材育成および最先端 AI 技術開発に向けた産学連携を開始 ～連携講座の開設と協働研究所の設置により、日本発 AI の社会実装を加速～

本田技研工業株式会社（以下、Honda）、慶應義塾大学、および国立大学法人 大阪大学大学院情報科学研究科（以下、大阪大学）の3者は、2026年4月より高度 AI 人材育成を目的とした連携講座を開設するとともに、最先端 AI 技術の研究開発を行う協働研究所を設置し、稼働を開始します。本産学連携では、両大学が有する最先端の学術知と、モビリティ分野を中心にさまざまな技術の社会実装を行ってきた Honda の知見を融合させ、AI 技術の研究開発から実装までを一体で推進することで、次世代 AI 人材の育成と日本の産業競争力の強化を目指します。

AI 技術は、自動運転やソフトウェア定義ドビークル（SDV）をはじめ、産業や社会の在り方そのものを変革する中核技術として急速に進化しています。また、世界でも大学と産業界が緊密に連携し、研究成果を迅速に社会実装する動きが加速しています。こうした中、持続的に世界に通用するレベルの付加価値を創出し続けるためには、学術研究の成果を社会価値へと転換するスピードと、人の可能性を拡張する AI 技術の創出が不可欠です。この課題意識のもと、Honda、慶應義塾大学、大阪大学の3者は、それぞれの強みを持ち寄った、強い産学連携の取り組みとして「連携講座の開設」と「協働研究所の設置」を行います。

【3者による産学連携の概要】

■ 連携講座の開設

2026年4月より、慶應義塾大学と大阪大学の大学院生および Honda の技術者を対象に開設します。3者が大学の研究者と企業のエンジニアの立場から教育に参画し、それぞれの特性を生かして理論と実践を往還しながら「今、世界で通用する AI 技術」を学べる環境を構築します。本講座を通じて、学术界と産業界の双方を理解し、将来の AI 研究・開発・社会実装を牽引できる高度 AI 人材の育成を目指します。

本講座では日本でも例の少ない取り組みとして、慶應義塾大学と大阪大学の両大学が1つの講義を共同で開講するものです。講義は同じ曜日・同じ時限に、東西それぞれのキャンパスで同時に実施します。全14回程度の授業のうち、6回ずつ慶應義塾大学と大阪大学の教員、残り2回を Honda の従業員がそれぞれ担当します。

■協働研究所の設置

協働研究所では、最先端 AI 技術の研究開発を推進します。本研究所は、Honda が慶應義塾大学および大阪大学と連携して共同研究を行う施設として設置されます。Honda が保有するモビリティをはじめとする実世界（リアル）で生成される多様なデータと、両大学が強みとする AI 理論・データ解析技術を融合し、信頼性や説明可能性^{※1}を備えた AI 技術の創出に取り組みます。研究成果については論文発表にとどめることなく、社会実装を見据えた開発と検証を進めることで、研究と実装が循環する新たな研究モデルの確立を目指します。

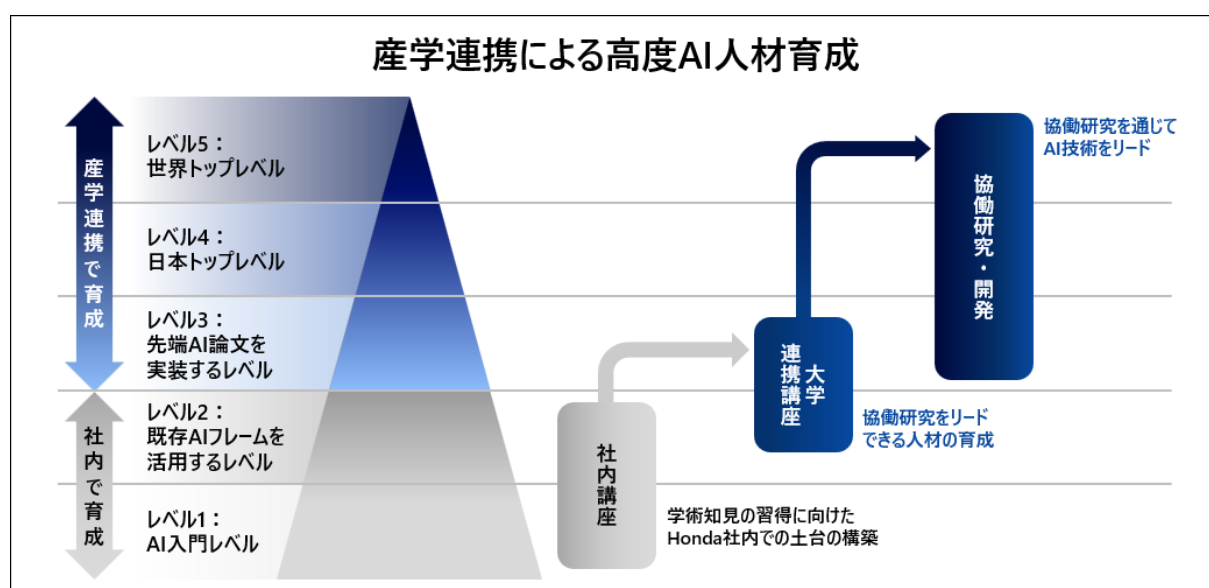
■Honda と慶應義塾大学の研究について

Honda と慶應義塾大学は、人の意図や感情を理解し、寄り添う存在として機能する「自我を持つ AI (BuddyAI)」の研究を推進し、人と AI が共生する社会の実現を目指します。研究所は慶應義塾大学の矢上キャンパスに設置されます。

■Honda と大阪大学の研究について

Honda と大阪大学は、モビリティから得られる多様なリアルデータと、マルチモーダル深層学習および知識構造化技術を組み合わせ、説明可能性を備えた信頼性の高い AI 技術の研究開発に取り組みます。研究所は大阪大学吹田キャンパスに設置されます。

本産学連携は、単なる個別プロジェクトにとどまらず、知と産業が結びつくことで日本から世界に新たな AI の価値を発信するためのモデルケースとなることを目指しています。まずは連携講座において先端 AI 論文を実装^{※2}できる人材を安定的に育成し、さらに協働研究所で研究・開発を行うことにより、日本・世界トップレベルの AI 技術者の育成を目指します。このように基礎的な AI 人材育成から、世界に通用する人材の育成の「橋渡し」をする今回のプロジェクトを「BRIDGE (ブリッジ)」と命名しました。本プロジェクトは、3 者を結ぶ「架け橋」であり、また、Honda が得意とする実世界（リアル）のハードと、両大学が得意とする知能化を結びつける「架け橋」でもあります。3 者は今後も連携を深化させ、AI 技術を通じて人の可能性を拡張し、社会に新たな価値を提供し続けていきます。



※1 AI が予測や判断を行った根拠を、人間が理解できる形で提示できる能力

※2 世界的な AI 学会で発表された最先端論文を読み解き、実際にプログラムして自分で検証すること

■本田技研工業株式会社 コーポレート管理本部 人事統括部長 安田 啓一のコメント

「Hondaは、グローバルブランドスローガンである『The Power of Dreams — How we move you.』の理念のもと、単なる移動手段の提供にとどまらず、人の心を動かし、可能性を拡張する価値の創造を目指してきました。AIは、その未来を実現するための最も重要な鍵です。慶應義塾大学、大阪大学という世界と競える研究力を有する両大学と連携することで、研究成果を社会に実装し続ける新たなモデルを構築していきます。本連携を、日本の産業競争力を再定義し、次世代のAI人材を育成するための挑戦として、3者一体となって推進してまいります」

■慶應義塾大学 理工学部 教授・一般社団法人 人工知能学会長 栗原 聡のコメント

「私たちが目指すAIは、単に効率的にタスクをこなす存在ではありません。人の意図や感情を深く理解し、人に寄り添い、共に考え、共に成長する『自我を持つAI』です。Hondaが掲げる『Create』『Transcend』『Augment』という思想は、人とAIが共生する社会を構想する私たちの研究とも強く共鳴しています。本連携を通じて、学術の知と産業の夢が交差する場から、世界が驚く次世代AIを生み出していきたいと考えています」

■大阪大学 情報科学研究科長・教授 原 隆浩のコメント

「世界のAI開発競争が激化する中、日本が世界をリードするためには、学術研究と実社会を結びつける新たなアプローチが不可欠です。Hondaが長年培ってきた、モビリティをはじめとするリアルなハードウェアと社会実装の知見に、私たち大阪大学のAI理論とデータ解析力を融合させることで、日本ならではの勝ち筋を切り拓けると確信しています。本協働研究を通じて、理論と実装が循環する研究開発モデルを確立し、信頼されるAI技術を世界に発信していきます」